

第142回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 令和3年12月17日（木）午後4時から

2. 開催場所 ホテル・ベラヴィータ

3. 出席の委員 委員総数 12名

出席委員数 9名

出席委員の氏名

・高山 正 ・倉田 富夫 ・坂庭 直治 ・入澤 安彦
・須田 章夫 ・傳田 直史 ・石原 久美 ・本多 由紀
・星 勝実

欠席委員（3名）の氏名

・湯本 博 ・清水 さゆり ・石井 陽子

放送事業者側出席者名

・本山 佳宏 ・柳 信男 ・真下恭嗣 ・津久井 功
・千明 公男 ・宇佐見 真弓 ・木内恵子

4. 審議内容

・本山社長挨拶

師走を迎え何かとお忙しいところ、ご出席賜り厚く御礼申し上げます。本年を振り返りかえりますと新型コロナウイルスに向き合いながらの生活を余儀なくされた厳しい1年でした。新年に予定しておりましたFM O Z E主催の賀詞交歓会は、皆様の健康を第一に昨年に引き続き開催を見送ることに致しました。新しい年が皆様にとりまして輝かしいものになりますことをご祈念し致します。

・高山委員長挨拶

本日は若干出席が少ないように感じます。審議委員に選ばれた意識を持っていただきたいと感じています。任期中では本日を含めて後2回の開催です。委員の皆様の積極的なご意見を期待致します。

(1) 放送報告

試聴 CD① 11月29日(月)「朝志のEラジオ」内 午後0時30分から
埼玉西武ライオンズ 高橋光成投手 ご出演

試聴 CD② 12月9日(木) 午前11時55分放送
認知症にやさしい地域づくりネットワークより検索放送依頼

- ・ 検索放送の手順を説明

試聴 CD③ 第14回模擬検索訓練「命の宝さがし」
・ 11月6日(土)に沼田市立多那小・中学校で行われた訓練についての取材

試聴 CD④ 11月16日 Happy Evening 内「Happy Café」午後6時30分放送
第40回全国中学生人権作文コンテスト 利根沼田地区大会
前橋地方法務局 沼田支局賞 受賞
沼田市立池田中学校2年 大河原和花さん
「自分が自分らしく生きるために」

試聴 CD⑤ 11月23日 Happy Evening 内「Happy Café」午後6時30分放送
第40回全国中学生人権作文コンテスト 利根沼田地区大会
沼田人権擁護委員協議会長賞 受賞
沼田市立沼田東中学校2年 河合円香さん
「優しい無視」

5. 報告事項

(1) 年末年始の放送体制

12月29日～1月3日まで 12時～14時 特別番組

※緊急告知放送は24時間体制

(2) 12月25日(土)開催

「Smile relay project～クリスマスの夜空に上がる笑顔の花～
午後6時45分 Youtube 配信

(3) 沼田エフエム放送(株) 令和4年 賀詞交換会 中止について

6. 次回開催日について（基本 偶数月 第3木曜日）

日 時 令和4年2月17日（木）16：00

会 場 ホテルベラヴィータ

番組審議会 12月試聴CD感想・意見

試聴CD③第14回模擬捜索訓練「命の宝さがし」

・11月6日（土）に沼田市立多那小・中学校で行われた訓練についての取材

●意見

- ・子供達へ認知症による徘徊について教えてもらえてよかった。しかし、徘徊と不審者の見極めなど課題もあると感じました。
- ・参加した子供達の意見や感想を放送で伝えてほしい。助け合いに繋がると思います。
- ・地域内連携をさらに進めてもらいたいと感じました。
- ・インパクトのある訓練だと思います。この企画が全国に広がる事を期待しています。

●審議機関の答申・意見に対しての措置

- ・子供達には認知症について学んでもらっています。実際の対応は子供達が直接声をかけるのではなく近くの大人に対応してもらって指導をしています。
- ・警察や、コンビニ、タクシー、郵便配達人等のネットワークがあり機能しています。全国的にも珍しい取組です。組織立ち上げには初代会長の内田好司氏がかなり尽力されました。
- ・今後も地域の訓練などについて、放送を通してお伝えしていきます。

試聴CD④11月16日 Happy Evening 内「Happy Café」午後6時30分放送

第40回全国中学生人権作文コンテスト 利根沼田地区大会

前橋地方法務局 沼田支局賞 受賞

沼田市立池田中学校2年 大河原和花さん

「自分が自分らしく生きるために」

試聴CD⑤11月23日 Happy Evening 内「Happy Café」午後6時30分放送

第40回全国中学生人権作文コンテスト 利根沼田地区大会

沼田人権擁護委員協議会長賞 受賞

沼田市立沼田東中学校 2年 河合円香さん

「優しい無視」

●意見

- ・素晴らしい作文だと感心しました。しかし、この切実な内容を公共放送で放送して良いものかとも感じました。受賞された多くの作品の中からこれを選んだ経緯を教えてください。
- ・私も刺激的な内容であり、ラジオ放送に向いていないと思います。
- ・いろいろな作文コンクールがあるので、それぞれの受賞作品を放送してもらいたいです。
- ・放送する内容の精査が必要と感じます。
- ・作文での言葉表現と放送言葉表現は必ずしも一致していないと感じました。これは放送における大きなテーマだと思います。
- ・人権についてはラジオには向いていないと思います。
- ・他の作品が名前と題名のみで紹介でしたが、聴きたいとおもったものがありました。
- ・どう感じるかは人それぞれの判断なので、放送することで提供することがラジオの役割だと思います。
- ・子供の意見を放送することで関心をもってもらうことが大切だと思います。
- ・選ばれてのものと、放送は違うのではないか。大きなテーマだと思います。

●審議機関の答申・意見に対しての措置

- ・放送作品の選択は主催者から上位賞2点の放送依頼を受けました。
- ・放送を聴いて、どう感じるかはそれぞれだと思います。
- ・弊社は民間の放送事業者です。基本的に有料放送を基本としています。

●まとめ

本日の皆様の意見について重く受け止め、今後の放送姿勢や地域に与える影響力を真摯に検討して参ります。

社名	沼田エフエム放送株式会社
----	--------------